

2026年3月19日

(報道資料)

一般財団法人リモート・センシング技術センター
株式会社パスコ
株式会社 New Space Intelligence
株式会社アクセルスペース
株式会社 Synspective

宇宙戦略基金(第二期)「衛星データ利用システム実装加速化事業」の採択について

—国産小型衛星の利用を加速する評価・校正・検証・補正手法の環境整備—

一般財団法人リモート・センシング技術センター(以下、RESTEC)、株式会社パスコ(以下、パスコ)、株式会社 New Space Intelligence(以下、NSI)、株式会社アクセルスペース(以下、アクセルスペース)、株式会社 Synspective(以下、Synspective)の5社は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)が公募する「宇宙戦略基金(第二期)」において、「衛星データ利用システム実装加速化事業/衛星データ利用システムの開発・実証環境整備(委託)」^{※1}に提案を行い、2026年3月13日に、採択されましたことをお知らせいたします。

■ 概要

技術開発課題名: 国産小型衛星の利用を加速する評価・校正・検証・補正手法の環境整備
実施機関: RESTEC(代表機関)、パスコ、NSI、アクセルスペース、Synspective
研究代表者: 樋口 理子(RESTEC)
実施期間: 事業契約締結日~2030年9月末を予定^{※2}

近年進む小型衛星の開発・利用において、衛星間の機体差や経年変化による品質・精度のばらつきは衛星データ利用の拡大を阻む一因となっています。そこで本技術開発では、国産小型衛星データの利用加速化を目指し、評価・校正・検証・補正手法の開発とこれらの成果を利用できる環境整備を行います。

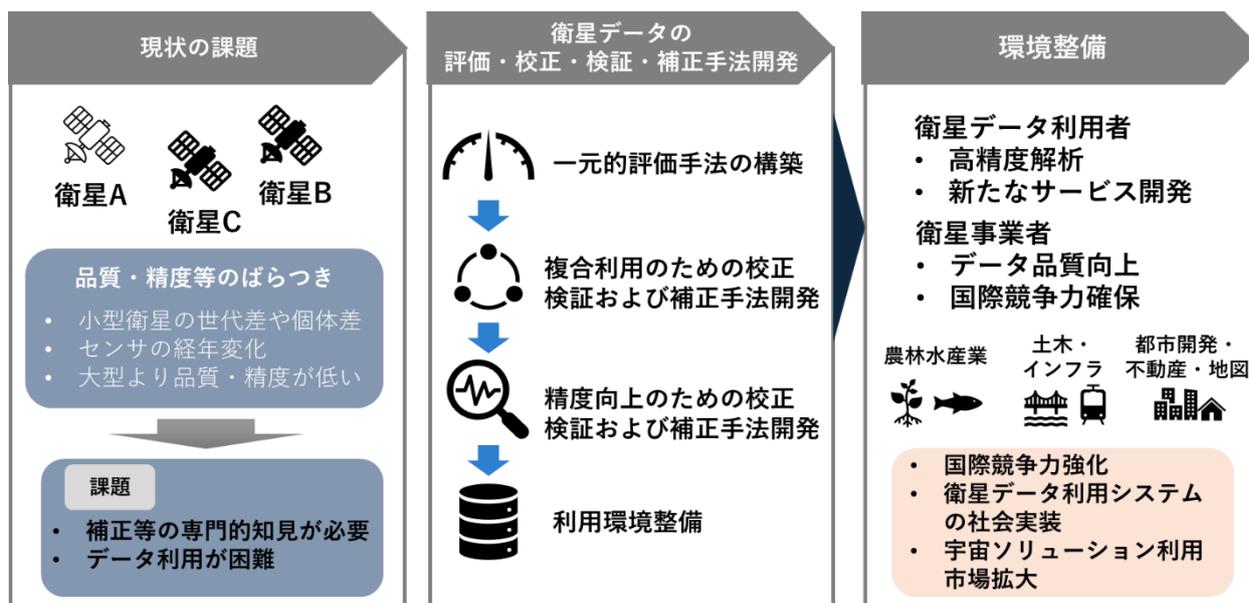
具体的には、以下4つの技術開発を進めます。

- ① 国産小型衛星に最適化した衛星データの一元的評価手法の構築
- ② 複数の衛星データを利用した複合利用のための校正・検証および衛星データ補正手法の開発
- ③ 大型衛星の手法を応用した精度向上のための校正・検証および衛星データ補正手法の開発
- ④ 衛星データ利用者および衛星事業者向けに解説書として作成・公開など、利用環境の整備

これにより、データ品質・特性を踏まえた利用と、多種多様な衛星データの高精度化と複合利用を容易にします。

RESTEC、パスコ、NSI、アクセルスペース、Synspectiveの5社は、本技術開発を通じて、国産小型衛星データの国際競争力強化と利用市場拡大に貢献し、さらに、宇宙を活用した地球規模の社会課題の解決に寄与してまいります。

【全体概要図】



■ 各社の役割について

- ・一般財団法人リモート・センシング技術センター

研究代表機関として全体統括および評価・校正・検証・補正手法の開発と利用環境整備を担当

- ・株式会社パスコ:

評価・校正・検証・補正手法(幾何)の開発と利用環境整備を担当

- ・株式会社 New Space Intelligence:

光学センサの評価・校正・検証・補正手法(画質)の開発を担当

- ・株式会社アクセルスペース:

光学センサの校正検証手法の開発を担当

- ・株式会社 Synspective:

SAR センサの校正検証手法の開発を担当

■ 研究代表者:RESTEC 樋口 理子コメント

本テーマが採択されたことを大変光栄に思います。国による大型衛星の校正検証技術を継承しつつ、誰もが衛星データを安心して使えるような技術開発と環境づくりを目指して尽力いたします。

※1 「衛星データ利用システムの開発・実証環境整備(委託)」:

衛星データ利用者が、多様な衛星データの品質・特性を踏まえてこれを利用することができるよう、衛星データを一元的に評価することが可能となる評価手法を開発する。

参考) 採択結果 https://fund.jaxa.jp/content/uploads/kekka2_22.pdf

※2 当初契約期間は、契約日から、最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日まで。

以上

【お問い合わせ】

株式会社パスコ <https://www.pasco.co.jp/>

(報道機関)広報部

press@pasco.co.jp